

構造材・水相互作用小委員会 活動方針(案)

日本原子力研究開発機構、塚田

目的

- 構造材と水環境の相互作用に関する基本的な理解の現状を整理し、今後必要な研究および技術開発の方向を検討する。
- 各種ロードマップにおける材料課題への対応に向けた議論・整理を行う。
- 最新技術・研究動向に関する情報交換・共有、メンバーの知識レベルの向上。

メンバー/委員

- 原子力材料分野またはプラント水化学分野の研究者/技術者。
- 大学、公的機関、電力、プラント、材料メーカーに所属する専門家。
- 他部会の学会員(ただし、上記の専門家)の参加も歓迎。

方法/運営

- 当該分野の最新の研究・文献情報、国際会議・技術動向の紹介・討論を行う。
- 開催頻度は年3回程度とし、各回テーマを設定しそれについて報告・討論を行う。
- 委員全員の貢献を前提とし、活発な議論が行える交流の場を形成する。
- 幹事(数名)は、交代で小委員会開催の準備・ホスト役を務める。

各種ロードマップとの関係における位置づけ

課題の抽出・まとめイメージ

「水化学による原子力発電プラントの安全性及び信頼性維持への貢献」を目標として、水化学における将来方向を予測し、ニーズを先取りして、目標達成のための具体的なアプローチをロードマップとして整備

高経年化対応ロードマップ

水化学ロードマップ

燃料高経年化ロードマップ



3つのサブワーキンググループの相関関係